

<自主的努力項目記入書式>

提携先	全農千葉県本部	記入日	2009.10.3
登録消費材名	落花生殻付き		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

千葉県内のJAが農家から落花生を集荷して、これを原料として落花生製品を製造しています。生産農家とはJAを通じて契約栽培を締結し、落花生を生産して出荷してもらうこととしています。千葉県産落花生の安定供給を目指して集荷数量の拡大を図ろうとしています。が、生産農家の高齢化が進み、作付面積の減少等により、年々生産数量が減少しています。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

千葉県の平成20年産落花生の作柄は、千葉県の発表によると平年並みでした。しかし県内の一部地域では8月の降水量の不足により「空の莢」の発生が多く、本会の主力産地であったため集荷数量に影響がありました。また、莢の中の実の細かいものが多くみうけられ、製品として出荷されることもありました。これにより、途中からは選別の基準をみなおして対応することとしました。依然、品質の良い国産落花生の安定供給が課題となっております。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

生産農家の高齢化により生産量が減少しているため、千葉県落花生協会では、作業の効率化を図るため、掘り取り機械を千葉大学と提携して開発をしています。これが実現できれば、生産農家に普及していきたいと考えています。引き続き、国産落花生の安定供給をより確かなものとするため、契約栽培農家からの千葉県産落花生の確実な集荷を図っていききたいと思ひます

<自主的努力項目記入書式>

提携先	全農千葉県本部	記入日	2009.10.3
登録消費材名	麦茶ティーバッグ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

焙煎した麦茶の原料を購入する際に、原料の仕入れロット単位で水出しの検査を実施しています。水出しの色の自主基準を設定し、基準外の原料は使用しないこととしています。検査結果は、写真にとり記録を保存しています。また、検査後の麦茶の試飲も実施しています。国産大麦の生産量の減少により、原料価格の上昇が課題となっております。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

麦茶の色等の問い合わせがあったが、水出しの検査を実施し記録をのこしておきサンプルを保管してあったため、クレームとはならなかった。大麦の作付けの拡大を千葉県内の生産農家に依頼したが、思うようには増えなかった。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

生産数量の拡大により、大麦原料の確保と国産大麦を使用した品質の安定した麦茶の供給に努めて生きたいと思ひます。